

令和7年度 熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻
学校推薦型選抜 小論文 出題意図

問題Ⅰ

未来を担い創造していく若者(高校生)に対し、どのような理念(考え方)や価値観を持ち、理想とする住空間をどのようにイメージできるかを問いたい。難解な建築理論や最新の建築情勢を述べることを期待するものではなく、①理想とする空間をイメージできるか②イメージした空間は快適で心地よいか(人間や地球環境にやさしいか)③イメージした空間を言語だけで、論立てた文章によって表現できるかなどを問うものである。

問題Ⅱ

さまざまな特徴を持った木造建物を対象として、これらの建物に関する理解の深さ、問題点の認識について確認することを意図している。

解答を期待する問題としては、

- ・ 古来の伝統的な構法による建物の特徴と今後維持していくための課題
- ・ 近年建てられている木造住宅の特徴とこれを維持していくための問題点

があげられる。これらの点は今後の木造建物を考えていく上で重要であり、これらの問題に関して考察・記述させることより、居住環境学を学ぶために必要な資質を問うものである。